

国体主会場の整備に伴う公園整備基本構想の 策定に向けた検討状況等について

1 公園整備基本構想の策定に向けた検討状況

(1) 経緯

平成 26 年 10 月 地元自治会長説明会開催

平成 26 年 11 月 (仮称) 彦根総合運動公園整備計画検討懇話会を設置し 2 回開催

▶ 検討懇話会の主な意見

- ・湖岸道路や国道 8 号からの交通アクセスに課題がある。交通渋滞への対応が重要。
- ・景観計画における視点場からの眺望に加え、彦根城からの眺望も大切。
- ・城下町の雰囲気を残すような整備を考えてほしい。
- ・彦根城から見える施設のボリュームは小さく、少しでも彦根城から離すほうがよい。
- ・十分な駐車場の確保を望む。
- ・スポーツ拠点としての整備とともに、世代をこえて人々に長く愛着を持って利用される多様な機能を備えた公園を整備してほしい。
- ・環境先進県として自然エネルギーの活用ははずせない。
- ・国体後のまちづくりや賑わいを創出するには J リーグ対応は重要。

(2) 公園整備の基本的な方向

＜公園のイメージ＞

人々にとって、スポーツを通じて、

- (a) 体力・健康づくり、そして夢を育てる場
- (b) 世代、性別、障害の有無などにかかわらず、さまざまな人々が交流できる場
- (c) 歴史・文化などと触れ合うことができる場



＜公園整備の基本的な考え方＞

- ① 県民のスポーツ拠点として機能を強化する。
- ② 世代をこえ長く愛着を持って利用される多様な機能を備える。
- ③ 彦根城をはじめとする周辺の景観等との調和を図る。

(3) 主な施設の種類・規模・配置

➤ 主な施設の種類・規模（案）

①第1種陸上競技場（新設）

- ・トラック、フィールド：400m×9レーン、フィールド内はサッカーなど多目的利用を可能とする。
- ・観客収容人数：15,000~20,000人

②第3種陸上競技場（新設）

- ・トラック、フィールド：400m×8レーン、フィールド内はサッカーなど多目的利用を可能とする。

③野球場（現有施設の存置）

④駐車場

- ・敷地内に分散配置

⑤その他

- ・例えば、庭球場、多目的広場、芝生広場、休憩所、ジョギングコース、緑地緩衝帯など



隣接する約8haを加え、公園敷地全体として約22haまで拡張

※プールは公園敷地内での設置が困難であり他所での再整備を検討する。

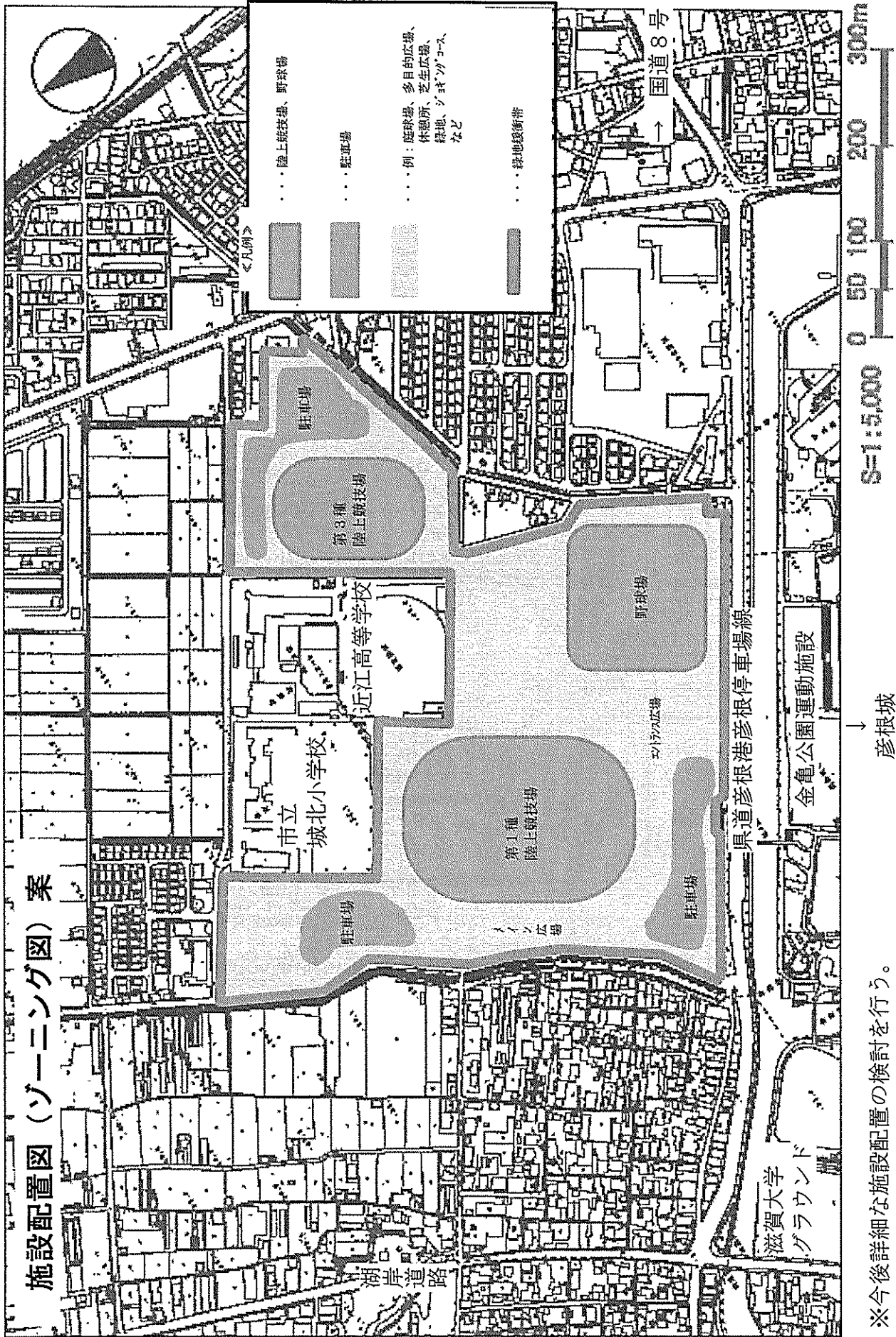
➤ 主な施設の配置（案）

- ・別添、施設配置図（ゾーニング図）案のとおり

2 今後の予定

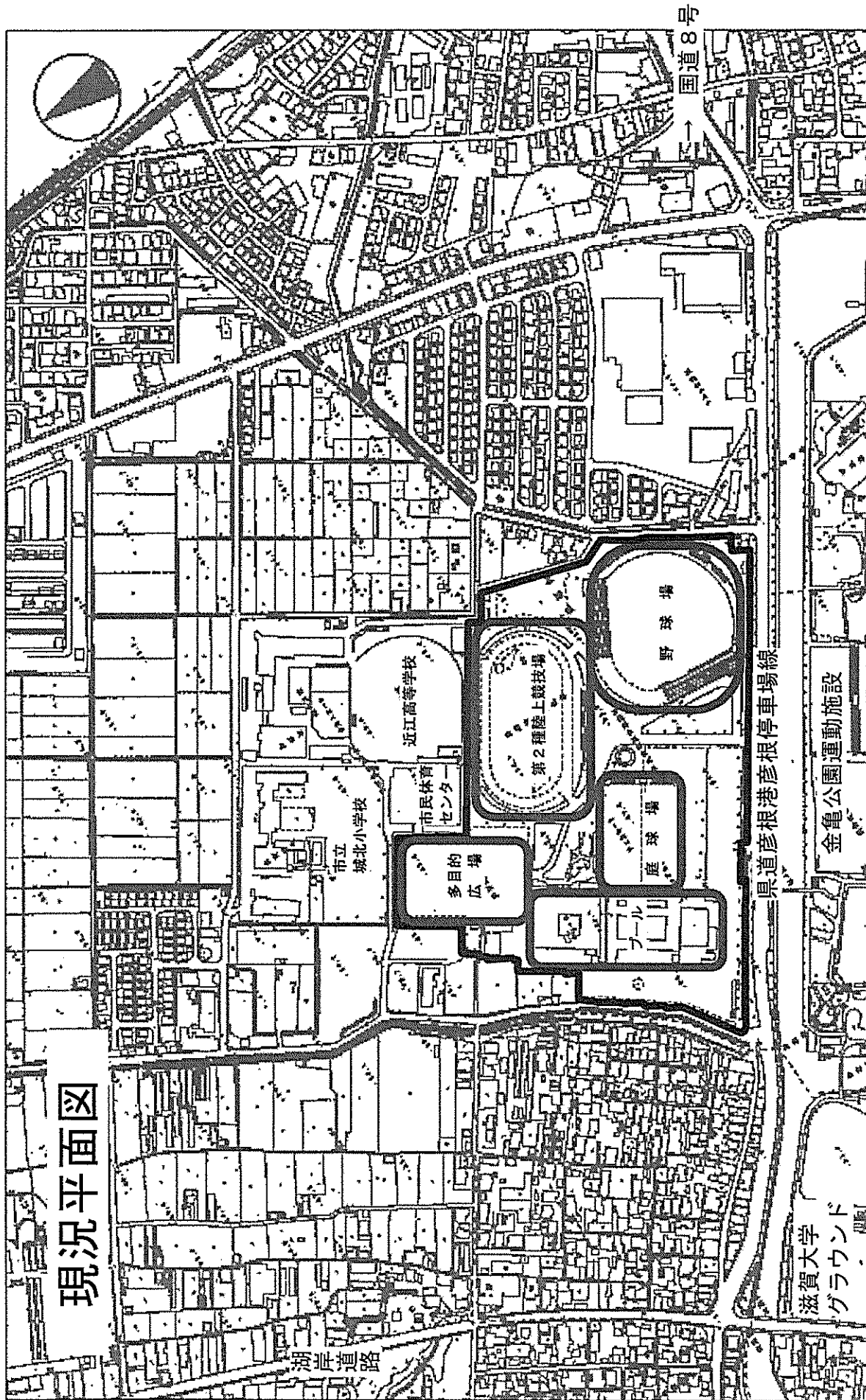
- ・懇話会での検討、地元自治会への説明、県民からの意見募集などを経て、今年度末に公園整備基本構想を策定する。その後、各施設の内容等をまとめ、公園整備基本計画を策定する。

施設配置図 (ゾーニング図) 案



※今後詳細な施設配置の検討を行う。

現況平面図



国道8号

↓ 彦根城

金亀公園運動施設

県道彦根港彦根停車場線

滋賀大学グラウンド

市立城北小学校

近江高等学校

市民体育センター

多目的広場

庭球場

プール

野球場

第2種陸上競技場

Scale: 1:5,000

0 50 100 200 300m